

室内用

# RHYTHM

## 電波時計 取扱説明書

(報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造  
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。  
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1504)

## 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ㊦は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

㊦は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

🚫 **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

🚫 **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**  
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

🚫 **強い振動や衝撃を与えない**  
故障や破損の原因になります。

🚫 **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**  
故障や誤作動の原因になります。

🚫 **ぬれた手で触らない**  
故障や誤作動の原因になります。

🚫 **分解や改造をしない**  
故障や破損の原因になります。  
分解禁止

🚫 **下記のような場所では使わない**  
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

### 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### 電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れていただきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度など使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

## おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差 ±20秒 温度が5～35℃のときのクォーツ精度
報時精度	表示時刻に対して±1秒	
使用電池	単1形マンガン乾電池 JIS規格 R20P 1.5V 2個	
	または単1形アルカリ乾電池 JIS規格 LR20 1.5V 2個	
電池寿命	単1形マンガン乾電池：約1年	単1形アルカリ乾電池：約2.5年
	標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で17回/日行ったとき	
報時機能	毎正時にメロディを1曲奏でる	
報時ON/OFF	スライドスイッチ	
暗所自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止	
収録曲数	電子音メロディ30曲を3つのグループに分けて収録	
音量調節	ロータリー式ボリューム	
モニター	メロディの試聴	
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止	
電池交換時期	秒針が常時12時位置に停止	
お知らせ機能		
振り子装飾用		
防塵防滴	なし	

電波受信機能 標準電波受信による時刻修正  
受信局 福島局/九州局 自動選択  
受信ON/OFF スライドスイッチ  
自動受信回数 最少 1日1回 最多 1日6回

自動受信について

受信開始時刻は、2時、3時、4時、12時、13時、14時各時間帯の15分59秒  
受信に成功した時点で、その日の自動受信を行わない。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 2個、木ねじ 1個、プレート 1枚、取扱説明書 本書、保証書 1枚

### お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「4MN536」をお伝えください。

(フリーダイヤル)  
**お客様相談室 0120-557-005**  
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波時計について

### 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。  
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。  
(http://jjy.nict.go.jp)

### 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

## 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

## お手入れについて

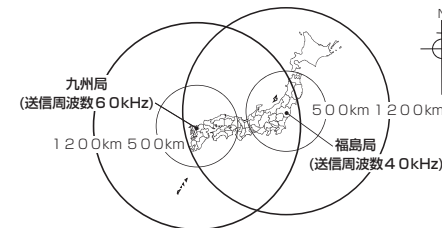
- 汚れがひどいときは、水ですすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**強制受信**を押してください。

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

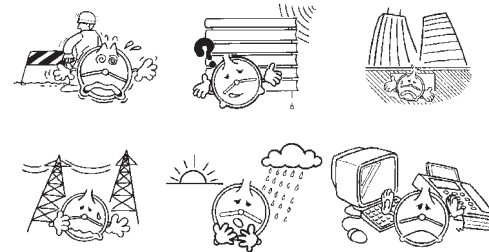


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

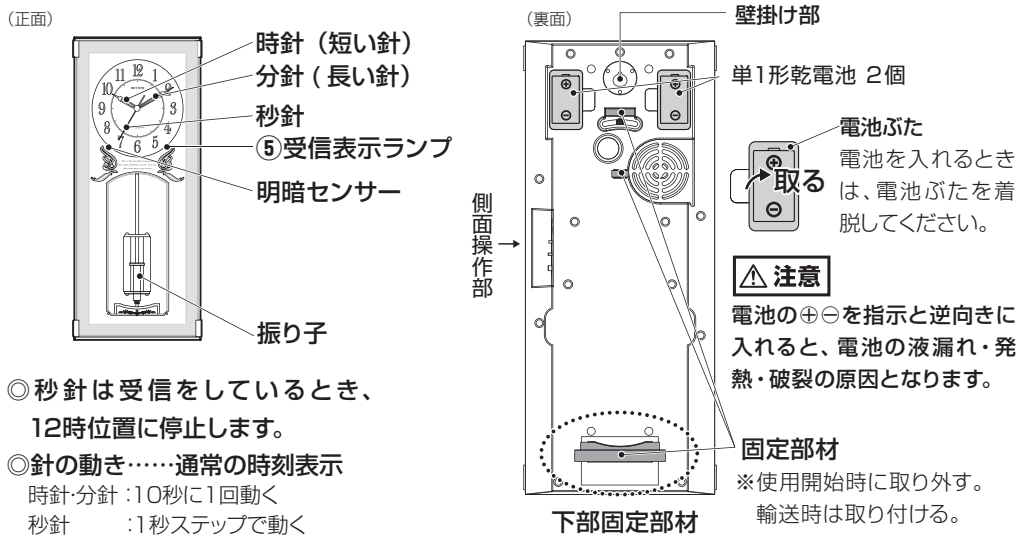
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



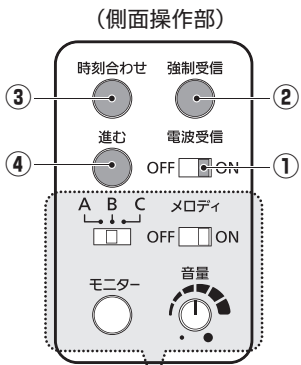


## 各部の名称と役割

○図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。



- 秒針は受信をしているとき、12時位置に停止します。
- 針の動き……通常の時刻表示  
時針・分針：10秒に1回動く  
秒針：1秒ステップで動く
- ※自動受信したときに、時刻を修正するために、早送りで移動したり、停止することがあります。

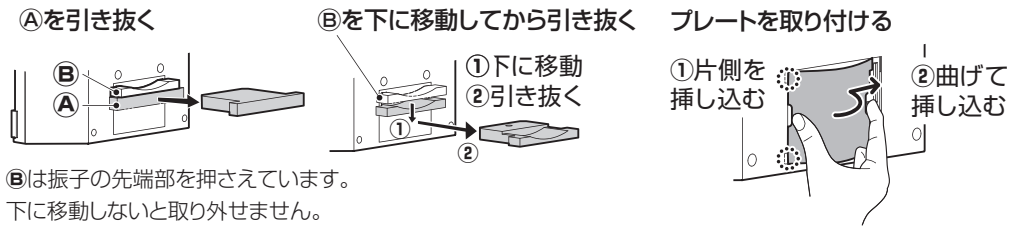


「報時機能の設定」を参照

- 電波受信 — 〇 ON: 定期的に標準電波の受信を行う。  
OFF: 標準電波を受信しない。
- 強制受信 — 電池を入れた直後に押します。電波受信スイッチがONのときは受信を開始します。押すと針は12時位置に移動して停止します。
- 進む — 手動時刻合わせ状態  
押してすぐ離す：1分進む  
押し続ける：早送り  
手動時刻合わせ状態以外のときに押すと受信機能OFF：受信表示ランプが2回点滅  
受信機能ON：消灯したまま
- 時刻合わせ — 約2秒間押し続けると手動時刻合わせ状態になり、手動時刻合わせ状態のときに押すと手動での時刻合わせを終わります。
- 受信表示 — 点灯、点滅、消灯で受信の成功/失敗、受信機能の設定状態などをお知らせします。

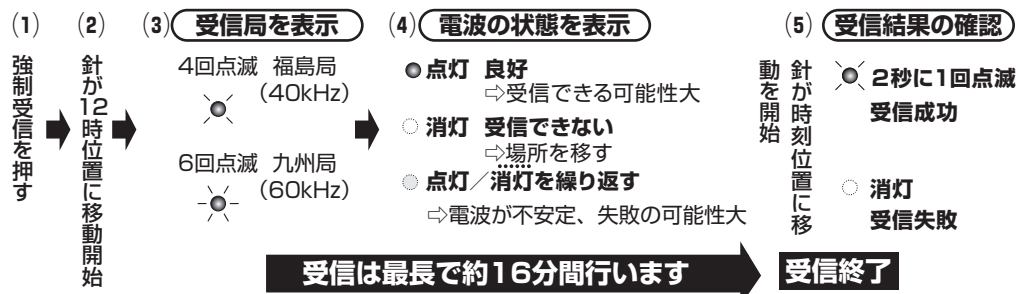
## 下部固定部材の取り外してプレートを取り付ける

下部の固定部材は、AとBで構成されています。下図の順番で取り外してください。取り外した後は、付属のほごりよけのプレートを取り付けてください。



Bは振り子の先端部を押さえています。下に移動しないと取り外せません。

## 標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



## 電波サーチ機能の使いかた……電波を受信しやすい所を探すには

- 窓際やベランダで(4)まで行き、受信表示ランプが点灯していることを確認します。受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- 時計を掛けたい所に移動して、受信表示ランプで受信状態を見ます。消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

操作 通常の針の動きのときに操作してください。

- 時刻合わせを2秒間押し続けると分針が1～2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。この状態になってから時刻を合わせます。  
※秒針が動いている間でも、進むを押して時刻を合わせることはできませんが、秒針が動いている間は、手動時刻合わせ状態を終了できません。
  - 進むを押して時刻を合わせます。  
押してすぐ離すと1分進む、押し続けると早送ります。
  - 時刻合わせを押すと、時を刻み始めます。
- 手動時刻合わせ状態のまま4分間ボタン操作をしないと、通常の時刻表示に戻ります。
  - 強制受信を押すと、手動時刻合わせを終了して受信を開始します。
  - 受信中に時刻合わせを押すと受信を中止させる操作になります。  
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

## 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波受信スイッチをOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

- ON：標準電波の受信を行い、受信に成功すると時刻を自動修正します。
- OFF：標準電波を受信しない。時刻の遅れ進みは手動で修正してください。
- ONにしたときには、必ず強制受信を押してください。
- OFFにして強制受信を押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。
- 受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときにOFFにすると、受信表示ランプが24～25時間点滅することがあります。

## 使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

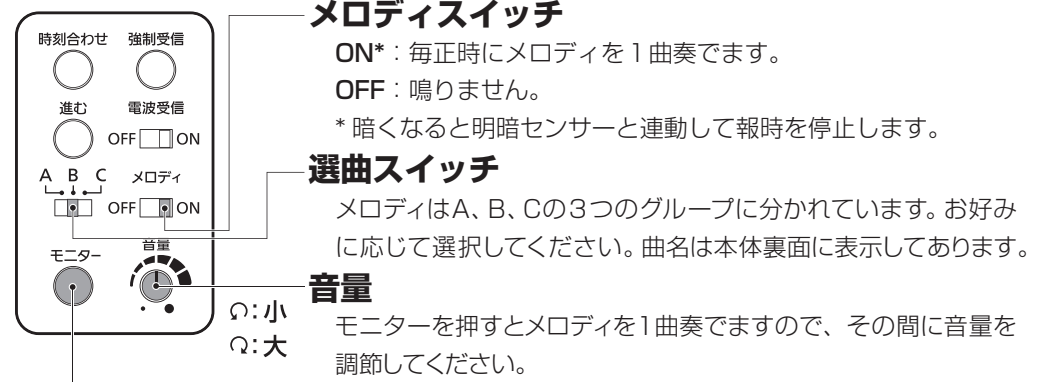
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「手動での時刻合わせ」を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 電波受信スイッチをONにする
- 操作中にメロディが大きな音で鳴らないように音量を最小にする
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
- 強制受信を押す **標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた** 参照  
針は12時に移動して、受信が終わるまで停止します。  
○早送りの途中で針が一時停止することがあります。  
※電池を入れた後は必ず強制受信を押してください。  
※受信中はボタン操作をしないでください。
- 固定部材を取る  
下部の固定部材を取り外した後は、付属のプレートを取り付けてください。  
※固定部材は保管してください。輸送の際は必ず取り付けてください。
- 時計の掛けかたに従って時計を確実に掛ける
- 受信開始から16分程度経過したら受信結果を確認する  
受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗しています。**標準電波を受信できない場合**を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。  
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押してください。  
※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

## 報時機能の設定 お好みに応じて設定してお使いください。



## モニター（メロディの試聴）

モニターを押すとメロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターを押すと次のメロディに切り替わります。次に報時するときには、再生の順番が1つ進みます。  
●報時すると曲目の順番が1つ進みます。  
●メロディは時刻ごとに固定されていません。また順番も変えられません。  
●手動で時刻を正したたとえば10時ちょうどに合わせても報時をしません。

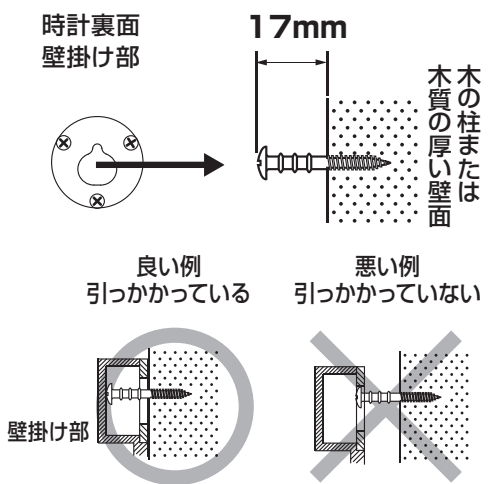
## 時計の掛けかた

**注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 壁掛け部以外のところに掛けない。

## 木の柱または木質の厚い壁面の場合

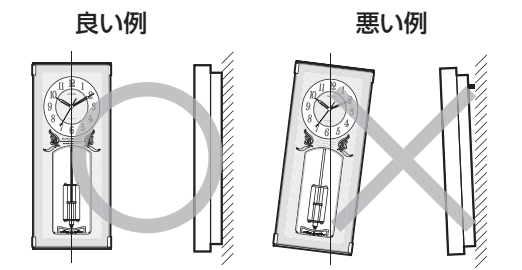
- 付属の木ねじが使用できるのは、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



## その他の壁面の場合

- 石こうボードやコンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を傾けて掛けると振り子が正常に動かなくなる場合があります。



## 明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合

- 受信表示ランプ消灯
  - 秒針を12時位置で停止
  - 報時の停止
- ※秒針は、明るくなってすぐには動き出さないことがあります。これは秒位置を合わせるためです。  
※昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

## 電池の交換時期お知らせ機能……常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると常時秒針が12時位置に止まり、電波の受信と報時を停止します。時針と分針はこのような状態になってから1ヵ月程度動き続けますが早めに電池を交換してください。電池が長持ちするアルカリ乾電池の使用をお勧めいたします。

**注意** 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守ってください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても定期的に交換する。  
マンガン乾電池は約1年、アルカリ乾電池は約2.5年が目安です。
- 報時をまったく使用しないと電池が長持ちしますが、長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

